



2030年の金沢を想像すること。

いま何が問題になっているのか。

誰がなぜ困っているのか。

想像力のスイッチをONにすると、たくさんの気づきがあります。

そこから、子供たちに引き継ぐべき

2030年の金沢の姿を描いていきましょう。

金沢SDGsは市民全員が参加者です。

SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」を、

金沢から実践していきましょう。



想像してみよう 金沢のミライ
IMAGINE
KANAZAWA 2030

IMAGINE KANAZAWA 2030とは？

持続可能な金沢をパートナーシップで実現するプロジェクトです。

SDGsを達成するためには、多様な主体が立場や世代を超えてつながり、未来のありたい姿を考えること、そしてそのために今からできるアクションを起こしていくことが重要です。

IMAGINE KANAZAWA 2030では、市民、地域、NPO、企業、行政など様々な主体が集まり、今、金沢が抱えている問題を一緒に考え、解決に向けて対話を重ねていく場を提供します。そして、多様な主体がつながることで大きな力を生み出し、みなさんと一緒に金沢のミライをつくります。

SDGsとは？

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

2015年9月、国連サミットで採択された2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲット(具体目標)から構成されています。

地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓い、発展途上国のみならず、先進国自身の普遍的な取組を推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



多様な主体がパートナーシップで取り組むことで目標を達成します

問題に対してバラバラに対応するのではなく、市民、地域、NPO、企業、行政など多様な主体がパートナーシップで取り組むことで、小さな力も社会を変える大きな力になります。

それぞれの目標は互いに関係し合い、つながっています

SDGsの17のゴールのうち、ある目標を達成するためには、別の目標と関連のある問題にも取り組まなければいけません。つまり、特定の誰かにとって良い社会ではなく、全ての主体にとってより良い社会にするための目標です。

金沢SDGs これまでの歩み

2018年7月
三者協定締結

金沢市、金沢青年会議所、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット (IAS-OUIK) の3者がSDGs推進に関する協定を締結しました。

2019年3月
金沢SDGs共同宣言
公式facebookページ開設

SDGsいしかわ・かなざわダイアログ 総括シンポジウムにて、金沢SDGsを進めるための「5つの方向性」を発表。「IMAGINE KANAZAWA 2030」プロジェクトをキックオフしました。



4月
第1回SDGsカフェ開催



6月
SDGsミーティング
スタート

カーフリーデー、環境フェア等のイベントや出前講座でSDGsの実践アイデアを募集

SDGsミーティングは金沢がめざす2030年の姿や5つの方向性を達成するための実践行動を議論するステークホルダー会議です。2019年度は教育や環境、ITなどの専門家、学生ら43名が参加し、全5回開催しました。



12月
公式ホームページ
リリース

「金沢のミライをつくるアクション」として公式HPで金沢SDGs行動計画(案)への意見を募集

2020年3月
金沢ミライシナリオ完成
(金沢SDGs行動計画)

SDGsを金沢で達成するための行動の道しるべをまとめました。

6月
IMAGINE KANAZAWA 2030
推進会議設置

多様な主体が連携して金沢SDGsを推進する組織です。

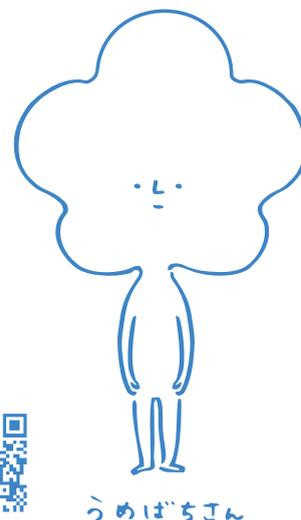
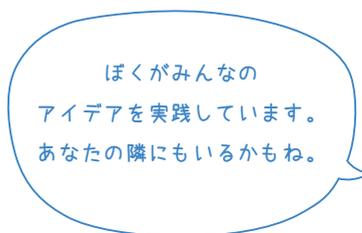
2020年～ 金沢ミライシナリオを実践するための取り組みへ

金 沢 ミ ラ イ シ ナ リ オ

金沢SDGs「5つの方向性」の実現に向けて
みんなのアイデアを「5つのシナリオ」としてまとめました。

「金沢ミライシナリオ」は、IMAGINE KANAZAWA 2030の活動を進めていくための道しるべです。SDGsミーティングで作成された原案に、SDGsカフェやイベント、ホームページなどを通じて寄せられた多くの意見を反映し、2020年3月に完成しました。

金沢ミライシナリオには、金沢SDGs「5つの方向性」に対応する5つのシナリオがあり、それぞれに「目標」「取り組むこと」「実践アイデア」が整理されています。ここではその一部をご紹介します。

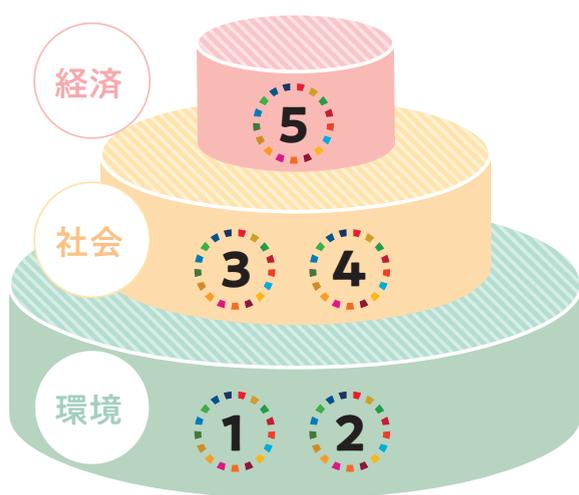


金沢SDGs公式ホームページでは「金沢ミライシナリオ」のすべてを読むことができるよ。あなたの実践アイデアも考えてみてね。



金沢SDGs「5つの方向性」とは

金沢でSDGsを効果的に進めるため、「金沢の風土、歴史、文化を踏まえること」、「経済、社会、環境の3つの側面を包括的に捉えること」という視点から5つの方向性を掲げました。



5つの方向性に基づき
さまざまな人や組織と
協働で取り組みます。



1 自然、歴史、文化に立脚した
まちづくりをすすめる



2 環境への負荷を少なくし
資源循環型社会をつくる



3 次代を担う子供たちの
可能性を引き出す環境をつくる



4 誰もが生涯にわたって学び
活躍できる社会風土をつくる



5 文化や産業に革新的イノベーションが
起きる仕組みをつくる



持続可能な開発は「環境」「社会」「経済」の3つの層を統合させて解決することが必要だと考えられています。金沢がこれまで固有の自然や地形などの環境を基盤として地域社会が形成され、独自の産業などが発展してきたように、2030年に向けた金沢SDGsの5つの方向性も、この3つの層の成り立ちや関わりを意識しています。

自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる

古くて新しくて心地よいまち

金沢の地形は、山地、台地、平野、河川などから構成されています。起伏豊かな地形を土台に歴史や文化が蓄積され、今日では生物多様性に富み保存と開発の調和がとれた創造都市として国内外へ独自性を放っています。こうした金沢の自然、歴史、文化の価値をさらに高め、住む人の目線で心地よいまちづくりをすすめます。

目標

歩いてまちの魅力を感じる。

自然と調和した、
災害に強いまちをつくる。

金沢らしい暮らし方、働き方、
住まい方を知り、継承する。

いろんな世代がわくわくする
コトと場をつくる。

●シナリオ1の目標を達成するための 取り組むこと と 実践アイデア
たとえば…

祭礼・風習・季節感を大切に
する。

町会の祭礼に
参加してみよう。

「ウチの庭」は
地域のたから。
大切につくり育てよう。

グリーンインフラを
つくり、使う。



環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる

“もったいない”がないまち

持続可能な社会を実現するには、環境への負荷を軽減し、限りある資源を循環させる仕組みや技術を導入することが重要です。個人のライフスタイル、あらゆる企業活動、地域活動において、二酸化炭素排出量の抑制、再生可能エネルギーの導入、フードロスの解消、ごみの資源化などをすすめます。

目標

あらゆる手段で、
二酸化炭素の
排出量を抑える。

環境負荷の少ない
「つくる・運ぶ・売る・買う・使う・捨てる」
にシフトする。

●シナリオ2の目標を達成するための 取り組むこと と 実践アイデア
たとえば…

みんなが参加しやすい
省エネを進める。

住まいやオフィスの
照明をLEDに変えよう。
電気代も減るよ。

地産地消と
 フェアトレードの
両方に親しむ。

地場の野菜を選ぼう。
地場の野菜を使っている
飲食店を選ぶのもいいね。



次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる

子供がゆめを描けるまち

「当たり前の生活」を享受できない相対的貧困が社会問題となっています。生まれ育った家庭の経済状況や障害などに左右されることなく、すべての子供が安心して個性豊かに育つことができる環境をつくります。また、教育格差の是正や、文化や芸術などを通じて子供の自己肯定感を高める活動に、学校、地域、NPOなど多様なステークホルダーとともに取り組みます。

目標

すべての子供が安心して暮らし、育つことができる環境をつくる。

子供の多様性を尊重し、個性を伸ばす。

学校に関わるすべての人の幸せを実現する。

●シナリオ3の目標を達成するための 取り組むこと と 実践アイデア

たとえば…

- 子育ての喜びや困ったことを共有できる場をつくろう。地域にはもちろん、職場にも!

- 親も子供も安心して笑顔で暮らせるまちをつくる。

- みんなが学校について話し合い、学校に関わりを持つ。



- 部活動の指導に民間コーチを活用しよう。部活の活性化と、教員の負担削減につながるよ。



誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる

働きがいも、生きがいも得られるまち

人生100年時代においては、仕事と仕事以外の生活を調和させ、その両方を充実させることが欠かせません。多様な人材が、ライフステージや能力に合わせた柔軟な学び直し、働き方の選択ができる社会風土を醸成します。

目標

多様な価値観や文化を大切にする。

誰もが学びたい時に学べる場を用意する。

誰もが自信と生きがいをもって生活できるようにする。

一人ひとりが、いつでも、何度でもチャレンジできる環境をつくる。

●シナリオ4の目標を達成するための 取り組むこと と 実践アイデア

たとえば…

- 自分の人生に自信をもつ。

- 自分が好きなこと、得意なことを発見しよう。他の人と交流すると、自分らしさが見えてくるよ。



- 誰でも、いつでも、どこでも働くことのできる環境を整備する。



- 「リモートワーク」などの柔軟な働き方を社会全体で推進しよう。

文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる

新しいもの、ことを生み出すまち

AIなどの技術の進化がより加速する反面、持続可能な経営や中長期的な企業価値が問われる時代になっています。こうした背景を踏まえ、金沢の強みである文化の成長産業化や起業支援、学術機関やNPOなどとの連携、人材の多様性の推進など、創造性・革新性の向上に向けた仕組みをつくります。

目標

イノベーションが起きやすい
条件と要素を集める。

多くの起業家やベンチャー企業が
生まれ、連携してイノベーションを
起こす仕組みをつくる。

● シナリオ5の目標を達成するための 取り組むこと と 実践アイデア

たとえば…

金沢の強みである
文化を知って、磨く。

金沢では年間を通じて
さまざまな文化的な催しが
行われているよ。
気軽に参加してみよう。

市民がテクノロジーを
理解する。

AIやロボット
などの進化は、
暮らしにさまざまな
影響を及ぼすよ。
テクノロジーに
ついて学ぼう。



シナリオ1～5をすすめるパートナーシップ

協働のパートナーは、市民、地域、NPO、企業、行政などすべての主体です。多様な主体が「金沢ミライシナリオ」に参加し、組織を越え、それぞれの強みを生かしたパートナーシップを組むことで、複雑に絡み合った課題の解決を目指します。

目標

多様な人が
『金沢ミライシナリオ』に参画する。

連携による協働で
目標を達成する。

● パートナーシップを達成するための 取り組むこと と 実践アイデア

たとえば…

市民や企業が
『金沢ミライシナリオ』に
参画する。

SDGsのアクションを起こす
基盤をつくる。

市民や学生の
アイデアを
プロジェクト化
していこう。



IMAGINE KANAZAWA 2030 の取り組み

IMAGINE KANAZAWA 2030では、市民、地域、NPO、企業、行政など様々な方が、SDGsについて知ったり、対話をしたりすることができる場をつくっています。

もっと知りたい

まずは
ここを
チェック!



調べたい時にチェック!

公式ホームページ

プロジェクトが目指す方向性から、これまでの活動レポートまで、「金沢SDGs」がわかるウェブページです。



旬な情報をチェック!

公式 facebook ページ

イベントや旬な情報を発信します。



定期便で情報をキャッチ!

メールマガジン

金沢SDGsの情報をメールでお届けします。



SDGsを基礎から知る!

出前講座

地域、職場、グループなどの会合に出向いて金沢SDGsを紹介します。
※金沢かがやき発信講座



対話で深めたい!

SDGsカフェ

話題のテーマでSDGsを学び、コミュニケーションする場。誰でも気軽に参加できます。



今日からはじめる!

金沢ミライシナリオ

2030年の金沢を持続可能なまちにするために「いま、わたしが」できることが見つかる実践集。

パートナーシップで実践



IMAGINE KANAZAWA 2030

ミーティング

金沢を持続可能なまちにするプロジェクトを企画・実行するステークホルダー会議。



IMAGINE KANAZAWA 2030

パートナーズ

金沢でSDGsに共に取り組む個人、団体のプラットフォーム。



IMAGINE KANAZAWA 2030

ロゴマーク

金沢でSDGsに取り組む、みんなの目印。あなたの活動にも使えます。

●お問い合わせ先 金沢市都市政策局 企画調整課 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL 076-220-2031 FAX 076-264-2535

発行



金沢市



公益社団法人金沢青年会議所



UNITED NATIONS
UNIVERSITY
UNU-IAS
Institute for the Advanced Study
of Sustainability

国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

(2020.6)